

極真通信



国際空手道連盟

三歳からはじめる武道教育

検索

極真会館北海道支部

毎週木曜日20時ビジネスマンクラス盛上っています！
道場生の保護者の方は1回500円で参加できます。

大山倍達総裁18年慰霊祭

行事予定

平成24年4・5月号



4月28日(土)極真会館池袋総本部道場に於いて大山倍達総裁十八年慰霊祭を行いました。道場関係者・支部長をはじめ、総裁直弟子の方々が多数お集まりいただき、大山総裁も喜ばれていたと思います。

- 6月3日(日) 道南地区昇級審査会
〔室蘭市体育館格技室〕
- 6月24日(日) 第六回北海道ルーキーズカップ兼
極真北海道グランプリ
〔宮の沢屋内競技場〕

ひとつだけ

八方塞がりという言葉は、どの方面にも進めず、手の打ち様がない時、万策尽きるとか、展望が全く開けず、望みを絶たれるような状態に用いられています。ちなみに「八方」とは、東西南北・北東・東南・南西・西北の八つの方角のことで、あらゆる方角を意味するそうです。どっちの方向も道がふさがっていて動きが取れない。前にも後ろにも進めない。こんな状況が続いてしまうと誰でも絶望し、思い詰めてしまうものです。しかし、どんな「八方ふさがり」の状況でも、開いている部分の一つだけあるそうです。さて、どこでしょうか？四方八方がふさがっていても、空いているところ？そうです！上ですね！天は開いています。潜在意識は天と繋がっていますから、人間の頭で解決できないことでも、潜在意識なら解決してくれます。理論的に考えたり、自分の経験、自分の悟りで考えて、行き詰った時は、考えるのをやめることが一番のようです。考えすぎるとどうしても人は思い詰め、自分を追い込んでしまい、途方に暮れ、失望してしまいます。そんな状態で考えてもいい答えは出ませんから、望む結果だけを描いて、あとは潜在意識にお任せしてしましましょう！そして、今、目の前のやることを一生懸命、何も考えずにやる！一心不乱に！そうすると・・・不思議なことに、ふっと道が開けると言いますよ、不思議な縁が繋がって状況が良くなって行くようです。「人事を尽くして天命を待つ」ということですし、「万策尽きた時"あきらめられない"という名案がある」ですね！八方ふさがりでも天は開いています！今日も「上を向いて歩こう」\ (ノ^)/

武術総合空手全日本大会



5月3日横須賀アリーナにおいて、第三回全日本武術総合空手道連盟全日本大会が行われ、新琴似本部道場の高橋涼太選手が高校生の部と一般の部で優勝致しました。上記写真は、11月3日札幌ファクトリーホールで行なわれる【第7回北海道選手権大会】のゲストの元WBF世界クルーザー級チャンピオン西島洋介選手とCMA KPWヘビー級チャンピオン野地竜太選手です。

☆今月の頑張ってる賞☆

初貝 健瑠くん
仁瑠くん・瑠太く
8歳・6歳・4歳



健瑠の目標 「誰にも負けない強い選手になる」
ライバル「愛翔」
仁瑠の目標 「大会で優勝する」
ライバル「愛翔先輩」
瑠太の目標 「泣かないで頑張って選手育成コースに出れるようになりたい」
ライバル「みーたん」
強さもさることながら、声の大きさも素晴らしく礼儀正しい子供達なので、みんなのお手本です。

指導員のつばやき



指導員T～ゴールデンウィークでは極真空手の聖地でもある池袋総本部で、慰霊祭や昇級審査及び合同稽古に参加させて頂きました。今回の経験に基づき、大山総裁の残した極真精神並びに力と技を未来永劫一筋に伝承していきたいと改めて思いました。

指導員Y～ゴールデンウィークは地元でノンビリさせてもらい、充電完了です！7月のテスト、9月の大会にむけて一生懸命頑張ろうと思います！